なごや環境大学共育ゼミ

2020 年度「なごらい」ゼミレポート

（なごや外来種を考える会）

2021 年 3 月　　会長　野中賢輔

ゼミレポートの PDF ファイルは「なごらい」のホームページからダウンロードできます http://nagorai.org/

私達のモットーは

① 生態系を大事に外来種問題を考える、

② 啓発活動重視、

③ 協働コラボも積極的に…です。

2020 年度の「なごらい」の活動を以下に報告します。

①新型コロナウィルスの流行のためほとんどの活動が中止に

1 月に中国武漢より**新型コロナウィルス**が全世界に拡散され、日本でも 4 月には緊急事態宣言が発令されました。これによって3密(密閉・密室・密接)を避けるように愛知県・名古屋市からも指示があり、**会議やイベントはほとんど中止**。公共施設の会議室は使用禁止となり、特に調理室は 7 月になっても使用できない状況が続いたため、なごらいの「外来種を食べる会」は開催できなくなりました。なので「捕る会」も中止にしました。残念なことですが、感染で亡くなる方や苦しむ方を思えば仕方のないことです。

一方で野外だけで完結する**外来昆虫駆除の活動**などは８月に行うことができました。こちらは「なごや環境大学」ではなく、「なごや生物多様性保全活動協議会」主催のサマースクールでしたが、子供は大喜びで昆虫採集していました。みんな家に閉じこもっていたので外出したかったのですね。

サマースクール

キマダラカメムシの駆除

②ムネアカハラビロカマキリ調査 2020

2020 年 9 月初旬、名古屋市名東区の猪高緑地内で 2 頭の**ムネアカハラビロカマキリ**が見つかりました。実は昨年にも 1 頭が確認されており、それを受けて「なごらい」では名東区内の分布状況を調査することにしました。今年度は新型コロナウイルスの流行のため、多人数での調査はできないので、高木と宇野の 2 名で実施しました。

9 月 21 日に明徳公園を中心とした**名東区北部の公園**を、10 月 13 日に猪高緑地を中心とした**名東区南部の公園**を調査しました。順次、公園を回り、地面、草むら、樹上を目視調査。ところによっては叩き網での採集も試しました。また、公園間を結ぶ経路上の生け垣や植え込みも、漏らさず見て回りました。

★調査の様子

杜が丘公園

平池公園

昆虫等の生息状況としては、本郷公園などの数か所の公園で少数のバッタ類が見られたぐらいで、時期的に花も少なく、チョウ類もあまり見られませんでした。カマキリ類も平池公園付近の民家の生け垣でカマキリ（チョウセンカマキリ）1 頭が見つかっただけでした。杜が丘公園では、外来種のキマダラカメムシが見られ、駆除しました。

今回の 2 日間の調査によって、**外来種ムネアカハラビロカマキリは確認されませんでした**が、猪高緑地においては 2 年連続で成体が確認されており、卵塊も確認されているとのことなので、今後も注視していきたいと思います。

平池公園のカマキリ

杜が丘公園のキマダラカメムシ

★調査か所図(2020 年 9 月 21 日)

調査経路 0921 ①明徳公園 西駐車場 → ②藤森第二公園 → ③本郷公園
→ ④本郷南公園 → ⑤上社北公園 → ⑥日吉神社 → ⑦丁田公園
→ ⑧藤森第一公園 → ⑨丸根公園 → ①明徳公園 西駐車場

藤森第二公園

本郷公園

本郷南公園

上社北公園

日吉神社

丁田公園

藤森第一公園

丸根公園

調査か所図(2020 年 10 月 13 日)

調査経路 1013 ①猪高緑地 森の集会所駐車場 → ②社が丘公園
→ ③姫若公園 → ④平池第二公園 → ⑤平池公園 → ⑥上社公園
→ ⑦流公園 → ⑧貴船公園 → ①猪高緑地 森の集会所駐車場

③海の外来種調査 2020

陸にはオオキンケイギク、ムネアカハラビロカマキリ、などが、池や河川には、ブラックバス、アカミミガメなどの外来種が見られることは、多くの人に知られています。その一方で海については・・・？普段見に行く機会が少ないので、海の外来種といっても、あまり名前が浮かんでこないのではないでしょうか。

でも実は、名古屋市近くの海域では、**チチュウカイミドリガニ、イッカククモガニ、ムラサキイガイ、ミドリイガイ**などの外来種が見つかっているのです。そこで「なごらい」では、海の外来種の現状を調べてみることにしました。

今回の調査は、新型コロナウイルスの感染を防ぐため、人と接触しないように気を付けて実施しました。

1 調査方法

一般市民でも容易に調査できる方法であるＤ型ネットによる捕獲調査を中心とし、Ｄ型ネットでは対応できないような深場や高さのある護岸などからの捕獲は磯玉網を使用しました。

2 調査場所

チチュウカイミドリガニの確認実績がある堀川および堀川と類似の環境にあると推測される河口域で調査を行いました。航空地図で調査可能とみられる場所を選定したうえで現地を確認し、**堀川**に加え、**天白川**、**中川運河**、**荒子川**、**庄内川**の 5 か所で調査を実施しました。

3 調査状況

A 堀川…宮の渡し公園付近で調査実施。護岸からの磯玉網による採集と、階段護岸下に胴長で入って Ｄ 型ネットでの採集をやってみましたが、ゴミとヘドロ状の物質以外は採集できません。2回の調査日ともに濁りがあり、目視による確認もできませんでした。

堀川においては、名古屋市港区作倉町の港陽公園近くでも調査を試みたが、ネットフェンス等で囲われ、水際には近づけませんでした。

B　天白川…天白扇川橋上流で調査実施。D 型ネットによる採集をやってみましたが、外来種は採集できず。護岸沿いに目視で探索しても、チチュウカイミドリガニやミドリイガイ等は見られません。コイ、クロダイ等が目視で確認できました。

C　中川運河…南郊公園付近で調査を試みたが、水路内に入れず断念。

D　荒子川…荒子川フェニックスアイランドにて調査実施。D 型ネットでは川底まで届かず、磯玉網での採集をやってみましたが、外来種は採集できず。濁りが強く、目視では何も確認できませんでした。

E　庄内川…稲永公園付近で調査実施。D 型ネットで採集をやってみましたが、外来種は採集できず。護岸沿いに目視で探索しても、ボラの群れが見られた程度で、チチュウカイミドリガニやミドリイガイ等は見られませんでした。

4　調査結果

実績のあった堀川の宮の渡し公園付近を含め、**チチュウカイミドリガニ等の海の外来種は確認できませんでした**。

5　まとめ

今回調査した5か所ともに濁りがひどく目視での確認もほとんどできませんでした。また、調査か所付近で調査に適当な場所を探したが、ネットフェンス等で囲われている場所ばかりで、調査のために川に近づくことさえも困難でした。海の外来種調査を目視や D 型ネットで手軽に行うには、調査場所の選定が非常に難しく、場所があったとしても限定されるので、全体像が分かりづらいです。

しかし、外来種の生息確認は必要なので、今後は調査範囲を拡大し、調査に適切な場所を見出していきたいと思います。

④トウネズミモチ駆除実験

2015 年から侵略的な外来樹木トウネズミモチを食塩で枯死させる実験を続けてきましたが、20 年度は 12 月から始まった新型コロナ第 3 波の猛威のため 1 月に予定していた新実験を中止しました。残念ですが、不急の活動は自粛しました。しかたないので昨年 1 月の実験結果を 3 か月後の 4 月にチェックした結果だけを載せておきます。

昨年の実験は、トウネズミモチの細い実生を枯らす方法として下記 4 点を 2 体ずつ試しています。

1. 高さ 5cm でカットして樹皮を剥き、塩水に漬けた脱脂綿を巻いてガムテープで巻く
2. カットせず高さ 5cm で樹皮を剥き、塩水に漬けた脱脂綿を巻いてガムテープで巻く
3. カットせず高さ 5cm で樹皮を剥く「巻き枯らし」のみ
4. 高さ 5cm でカットして断面にドリルで穴を開け、塩水注入後、ガムテープを巻いた中に塩水漬け脱脂綿を詰め込む

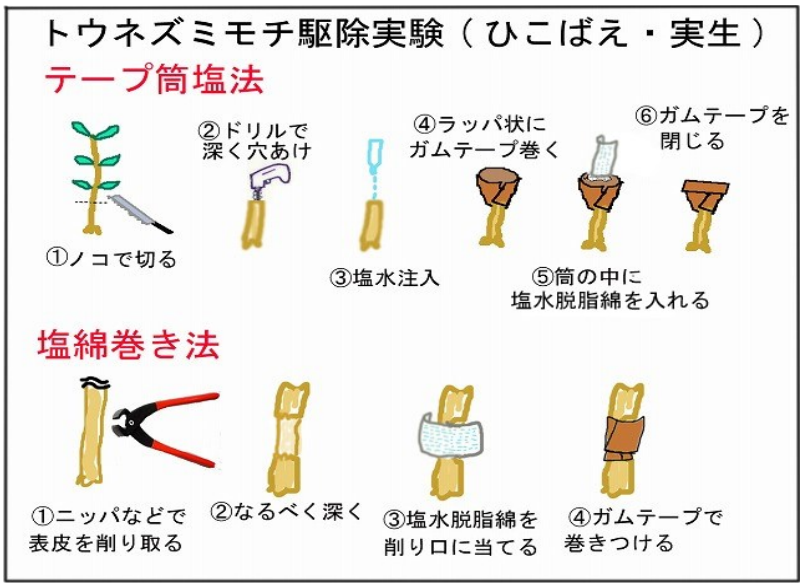
結果として 1 は 2 本とも枯れた。 2 は 1 本のみ枯れた。 3 は枯れていない。 4 は 2 本とも枯れました。

トウネズミモチ駆除実験表

実験番号	20年1月　実験方法	20年4月　確認結果
20-1	カットして樹皮を剥き綿塩巻き	再生なし
20-2	カットして樹皮を剥き綿塩巻き	再生なし
20-3	カットせず樹皮を剥き綿塩巻き	葉が枯れていない
20-4	カットせず樹皮を剥き綿塩巻き	葉が枯れている
20-5	カットせず巻き枯らしのみ	葉が枯れていない
20-6	カットせず巻き枯らしのみ	葉が枯れていない
20-7	カットしてドリル穴+塩水注入+綿塩巻き	再生なし
20-8	カットしてドリル穴+塩水注入+綿塩巻き	再生なし

まとめ

細い実生を枯らす方法として、塩水漬けの脱脂綿を巻いたり、ドリル穴に塩水を注入するのは効果ありと言えそうです。いわゆる巻き枯らしは今回効果なしでしたが、本来この巻き枯らし法は春先に樹皮がはがれやすくなってから行うものだし、3 か月間ではまだ結果が出ないのかもしれません。



20-1カット塩綿まき再生せず

20-2カット塩綿まき再生せず

20−3カットせず塩綿まき枯れてない

20-4カットせず綿塩まき枯れている

20-5巻き枯らし　枯れていない

20-6巻き枯らし　枯れていない

20-7ドリル+塩水+綿塩　再生せず

20-8ドリル＋塩水+綿塩　再生せず

なごや環境大学共育ゼミ2020年度(令和2年度)「なごや外来種を考える会」調査報告書

なごや外来種を考える会「なごらい」ホームページ http://nagorai.org/
「なごらい」活動ブログ http://blog.goo.ne.jp/nagorai
活動についてのお問い合わせは・・・なごらいメール:nonaka@kato-ken.co.jp **まで**

ゼミ参加者も「なごらい」会員もお手伝いさんも募集しています！

本冊子はなごや環境大学共育ゼミナール成果物として制作されました。 発行2021年3月

なごや環境大学